

徒然想

色あざやかな花とさわやかな新緑が心地よい季節です。弊社本社のある広島市では、毎年ゴールデンウィークに開催されるフラワーフェスティバルが有名ですが、今年は昨年を上回る169万2千人が来場し、歴代3位の観客数だったそうです。特に今回は、東日本大震災被災地支援スローガンとして、「届けよう 希望 元気」を掲げられており、大変盛り上がったようです。被災された方々、今なお避難所での暮らしを強いられている方々に、少しでもその気持が届きますように。そして、日本中で復興の花を咲かせることができますように。

TECHNICAL TOPICS KRCの技術情報はこちら

第7回3次元計測フォーラム「SPAR2011J」

2011年5月17日(火)、18日(水)の2日間、川崎市産業振興会館(川崎市)において、第7回3次元計測フォーラム「SPAR2011J」が開催されます。

このフォーラムは、既存設備の3次元形状計測のニーズが増大し各種領域に広がってきたことを背景に、関連のハード、ソフト、計測サービス及びエンドユーザーを交えて、最新の技術動向についての情報を交換しあえる場です。対象領域は、プラント、土木、建築、移動体計測、文化財を含めた広い用途を対象としています。適用技術としては、レーザスキャナを中心にデジタル写真やGPS技術などの融合、その他の関連技術を含めた3次元形状計測に特化したもので、わが国を代表する3次元計測フォーラムと展示会です。

今回の基調講演は、柴崎亮介教授(東大空間情報科学研究センター長)、建築・BIM分野から嘉納成男教授(早稲田大学)など著名な学識者による興味深いものです。また弊社の西村正三が司会を務める「土木セッション」では、レーザ、写真測量技術を主体に土木分野への3D計測の利活用についてご紹介いたします。さらに弊社からは、「全方位・多眼撮影システム」による橋梁点検手法についてご紹介いたします。この撮影システムは、橋梁構造の全体概要を全方位カメラ、詳細画像取得は「走行型連続画像計測システム」を用い「全体構造から局所部材までをカバーする撮影システム」であり、明石海峡大橋の補剛桁に適用してシステムの有効性の調査と課題の抽出を実施したものです。(株ブリッジ・エンジニアリング様が行った本州四国連絡高速道路株様の検討業務に協力)



昨年のフォーラム開催状況(500名以上が参加)



40km/hで走行しながらの試験撮影状況



パノラマで詳細画像の部位を確認

また後援の(財)日本建設情報総合センターの海津優研究部長からは、この度の東北関東大震災被災地域市町村へ無償提供された災害復旧効率化支援システム—Photog-CADや、3D化への取り組みについて紹介される予定です。このように、内容も盛りだくさんのフォーラムと展示会が企画されておりますので、ぜひご参加頂きたいと思っております。

関連ページ <http://www.jacic.or.jp/topics/2011032201/Provide-Photog.html>
<http://www.sparj.com/spar2011J/SPAR2011J.htm>

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせ先: krc@krcnet.co.jp HP: <http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm>